

アンコンシャス・バイアスの認知と理解に向けた 普及・啓発事業【福岡県】

総事業費	2,522千円
交付金額	1,261千円

地域の実情と課題

アンコンシャス・バイアスへの認知と理解を促すためには、県民へ幅広く啓発するとともに、人々の意識形成に影響力を持ち、身近な情報発信源であるメディアと連携・協力することが必要

事業の特徴

- ジェンダー平等視点を持った記事や番組制作等の積極的な発信や企業へのアンコンシャス・バイアスの認知と理解促進に向けて、報道関係者を対象に社会における様々な分野・場面における「男女共同参画」「女性活躍」の必要性・重要性を学ぶ勉強会を開催
- また、会員企業への情報発信に向けて、連携団体の担当者等を対象にしたアンコンシャス・バイアスの勉強会も実施

事業の効果

- 参加者のアンケート結果から、勉強会自体として、理解度、活用可能度がいずれも80%以上と高評価
- 参加者からは、「無意識にジェンダー差別をしていることを初めて知れてとても勉強になった」、「いろんな業種の方が参加されていてそれぞれの立場の話が聞けたので良かった」などの声が聞かれた

目的・目標

- 性別役割分担意識をはじめとしたアンコンシャス・バイアスへの認知と理解を深め、誰もが個性と能力を発揮でき、意欲的に働くことができる企業風土への改革を図る
- 固定的性別役割分担に賛成しない人の割合はR1年度時点度56.7%とようやく安定的に50%を超えてきており、アンコンシャス・バイアスの認知と理解を上げながら、次回調査時には目標値を達成したい

連携団体

福岡県女性の活躍応援協議会
 福岡県、福岡労働局、福岡県市長会、福岡県町村会、福岡県経営者協会、福岡県商工会議所連合会、福岡県商工会連合会、福岡県中小企業団体中央会、福岡県中小企業家同友会、福岡県中小企業経営者協会連合会、福岡県農業協同組合中央会、日本労働組合総連合会福岡県連合会
 (九州経済産業局、福岡県信用金庫協会、福岡県建設業協会、福岡県情報サービス産業協会、福岡県機械金属工業連合会、福岡県中小企業診断士協会、福岡県社会保険労務士会) ※()は実務者会議のみ

今後の課題

アンコンシャス・バイアスの認知度をさらに高められるよう、あらゆる機会を捉えて引き続きアンコンシャス・バイアスの認知と理解を上げることが必要

アンコンシャス・バイアスの認知と理解に向けた普及・啓発事業

報道関係者及びテーマに応じた参加者を対象にした勉強会を実施

【対象：経済団体】※オンライン開催

アンコンシャス・バイアス勉強会／R4年10月26日

テーマ「人を活かし、成長し続ける組織づくりのためのアンコンシャス・バイアス勉強会」

【対象：報道関係者・教育関係者】※オンライン開催

アンコンシャス・バイアス勉強会／R4年11月18日

テーマ「ジェンダーの視点からみる「学校教育」の今」

【対象：報道関係者・人事・労務担当者】※オンライン開催

アンコンシャス・バイアス勉強会／R5年1月26日

テーマ「職場に潜むバイアスが人材の活躍をはばむ」

第1回 11/18 (日) 参加費 無料
Zoomオンラインセミナー 18:00～20:00
会場：Zoom
この日のテーマ：ジェンダーの視点からみる「学校教育」の今

ゲスト講師による基調講演
「ジェンダーの視点からみる「学校教育」の今」
大崎 麻子氏

安寝夜ワークショップ
講師：大崎 麻子氏

TEL: 092-791-5442
E-mail: seminar@gjps.jp

第2回 1/26 (木) 参加費 無料
Zoomオンラインセミナー 14:00～16:00
会場：Zoom
この日のテーマ：職場に潜む「バイアス」が人材の活躍をはばむ

ゲスト講師による基調講演
「職場に潜む「バイアス」が人材の活躍をはばむ」
浜田 敏子氏

グループセッション
テーマ：職場に潜む「バイアス」が人材の活躍をはばむ

TEL: 092-791-5442
E-mail: seminar@gjps.jp

<アンケート結果より>

「理解度」「活用可能度」 **80%**

経済団体向け勉強会では、「「違いを認め合う組織風土」をつくるのが大事だと改めて気付いた」、「アンコンシャス・バイアスにはいろいろなタイプがあることを初めて知り、自身の認識不足に気付いた」など意識に変化が見られる。

メディア向け勉強会では、「無意識にジェンダー差別をしていることを初めて知れてとても勉強になった」、「いろんな業種の方が参加されていてそれぞれの立場の話が聞けたので良かった」などの意見があり、参加者の満足度も高い。

チラシ（左：教育 右：人事・労務）